

## 基礎数学 II

6

$A$  を次に定める  $n \times n$  行列とする.

$$A = \begin{pmatrix} -a_1 & -a_2 & \cdots & -a_{n-2} & -a_{n-1} & -a_n \\ 1 & 0 & \cdots & 0 & 0 & 0 \\ 0 & 1 & \ddots & 0 & 0 & 0 \\ \vdots & & \ddots & & & \vdots \\ 0 & 0 & & 1 & 0 & 0 \\ 0 & 0 & \cdots & 0 & 1 & 0 \end{pmatrix}$$

また,  $p(x)$  を次に定める  $x$  の多項式とする.

$$p(x) = \det(xI_n - A)$$

ここで,  $I_n$  は  $n$  次単位行列を表す.  $k = 1, 2, \dots, n-1$  に対して,  $n \times n$  行列  $A_k$  をブロック対角行列

$$A_k = \begin{pmatrix} I_{k-1} & 0_{k-1,2} & 0_{k-1,n-k-1} \\ 0_{2,k-1} & C_k & 0_{2,n-k-1} \\ 0_{n-k-1,k-1} & 0_{n-k-1,2} & I_{n-k-1} \end{pmatrix}$$

とする. ただし,  $0_{\ell,m}$  は  $\ell \times m$  零行列,  $C_k$  は  $2 \times 2$  行列

$$C_k = \begin{pmatrix} -a_k & 1 \\ 1 & 0 \end{pmatrix}$$

を表す.  $n \times n$  行列  $A_n$  を対角行列  $A_n = \text{diag}(1, \dots, 1, -a_n)$  とする. 以下の問いに答えよ.

- (i) 多項式  $p(x)$  を, 定数  $a$  と非負整数  $r$  による  $ax^r$  の形の項の和によって表わせ.
- (ii)  $A = A_1 A_2 \cdots A_{n-1} A_n$  が成り立つことを示せ.
- (iii)  $|j - k| > 1$  において,  $A_k A_j = A_j A_k$  が成り立つことを示せ.
- (iv)  $n$  を奇数とする. このとき,

$$p(x) = \det(xI_n - A_1 A_3 \cdots A_n A_2 A_4 \cdots A_{n-1})$$

が成り立つことを示せ.

- (v)  $n$  を奇数とする.  $p(x) = 0$  の根は,  $n \times n$  の対称三重対角行列で定まる方程式

$$\det \begin{pmatrix} a_1 + x & -1 & & & & \\ -1 & 0 & x & & & \\ & x & a_3 + a_2 x & -1 & & \\ & & -1 & 0 & \ddots & \\ & & & \ddots & \ddots & x \\ & & & & x & a_n + a_{n-1} x \end{pmatrix} = 0$$

の根と一致することを示せ.

